

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		耳の健康相談				所管	健康部 保健サービス課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和 4 3 年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
	根拠法令等	その他		〔法令等名〕				
	事業対象	一般区民						
	事業目的	耳鼻咽喉の疾患を予防するために、区民への耳の健康に関する知識の普及啓発を図る。						
	事業内容	23年度からは、3月3日の「耳の日」にちなみ、耳・鼻・のど・花粉症の健康相談を日本耳鼻咽喉科学会東京地方支部主催とし、区は後援として開催(年1回)。 24年度からは、「耳の講演会」として実施している。						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	実施回数 (回)		1		1	1	
	成果指標	講演会参加者数 (人)		60	-	242	36	
	決算額 (単位：千円)			0	49	48		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			0	417	426	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			0	24	10	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	26	39	
		総経費			0	467	475	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
	一般財源 (区負担額)			0	467	475		
前年度から改善した事項								
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	区民の健康を維持していくため、耳鼻咽喉の健康に関する知識の普及は重要である。					
	効率性	3	健康相談については耳鼻咽喉科学会の自主事業であるため、区民により細やかな情報提供が行われるようになっている。					
	手段の適切性	3	初の講演会単独実施のため、他事業に組み込んだ24年度に比べて参加者が大きく減少したが、今後はより多くの区民に普及啓発ができるよう周知が必要である。					
	目的達成度	3	耳鼻咽喉の健康に関する知識の普及のため、耳鼻咽喉科学会と行政の両者が特性を生かし事業を展開することができている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
加齢とともに耳の聞こえをはじめ様々な症状が現れるため、内科の健診とともに耳鼻咽喉の健康に関する知識の普及は大切である。						維持		